

☆ 製造元：Piteba

HPにて取り付け方や使い方が動画で分かりやすく紹介されています。是非ご覧ください。

<https://www.piteba.com>

#### 【使い方】

##### 1. はじめてご使用になる前に

・圧搾部の内部と圧搾ネジをお湯と中性洗剤を使ってきれいに洗ってください。

・圧搾機をロックボルトとナットで縦型の木材が直接丈夫なテーブルに据え付ける。種の質によっては、抽出するのに強力な力が要るので、かなり丈夫な木材かテーブルのご使用をおすすめします。

・圧搾スクリューのシャフトの上の一番大きなワッシャーを滑らせて、このワッシャーに直接何か食用の油を差してください。※食用の油以外は使わないこと。※このワッシャーはとても強い圧力が掛かるので、いつも油がよく差してある状態にする。

・圧搾スクリューを圧搾部に差し込む。

・圧搾部に蓋をします。

・種の質によって調節ボルトを蓋に取り付けることもできます。

・漏斗を出口から15cmのところに用意（この出口の外側の直径は28mm。）

・圧搾機のシャフトの上を回してみて、ハンドルを小さなボルトやナットで固定。

・ランプオイルのガラス容器を満たにする

上部に芯をつけた芯ホルダーを置きます。この容器を付属のバンドで固定する。

・抽出油の出口の下に小さい容器を置く。

##### 2. 種

・種はよく乾いたものをご使用ください。

・種以外のものが混ざっている場合はふるいにかけて種だけにします。

・種はよく乾かして密閉袋にいれ、湿らないようによく口を閉めて保管しておいてください。湿った種は圧搾できません。

・質の悪い種は使用しない。また種は空気に触れることによって湿気てしまうので、一日に圧搾できる量だけの種を準備する。

##### 3. 圧搾

※重要※圧搾機のシャフトの端のワッシャーに食用油を差してください。

・種の質によって、調整ボルトの使用が必要かどうか確認してください。

調整ボルトをご使用になる場合は：

完全に開いた出口に2回転分のしぼりかすを出す。しぼりかすが出てきた時、調整ボルトがきつくしまり、次第に油がよい状態で流れだし、圧を強めることができます。

・芯に火を点火します。

・漏斗を種で満タンにします。

・**圧搾部が温まるまで10分待ちます。**

・ハンドルを時計回りに静かに回し始める

・しぼりかすが口金の2つの穴から出てきます。始めのうちは種もいくつが出てくるかもしれませんが。その場合は指で種が出るのを簡単に止めることができる。

・抽出された油が圧搾部の油切り口から出てくる。

・漏斗を通して種が規則的に流れていくか確認してください。漏斗で種が滞る場合は木製の棒などを使ってください。種の質が悪かったり、割れていたりとがったものは滞りの原因になります。

・**詰まり防止のために、小さなナイフで定期的におの切り口をきれいにしてください。**

・圧搾を5～10分以内に再開する場合は、火を消さずに灯したままでOK。そうすると、しぼりかすはやわらかいまです。

もし次の圧搾まで間隔がある場合は口金を取り除いて、その口金が冷える前にしぼりかすをきれいにしてください。

##### 4. 抽出した油

・圧搾している間、温かい油が圧搾部の途中の出口から流れ出ます。

・油は小さいコップか缶に集める。

・油が固まるまで2～3時間の間室温で置いてください。ヤシやココナッツのような高い融点の油は圧搾後直ぐに温かく保つか、漉してください。

・油は別の容器に移して、密閉して、ご使用になる又は販売されるまで冷暗所で保管してください。

※重要※食用できない油を圧搾した後、食用油を圧搾する場合は、圧搾機をよく掃除してください。掃除をせずに食用油を圧搾することは絶対にしないこと。

##### 5. しぼりかす

・しぼりかすは動物の飼料として好適。

・しぼりかすにはどんな油も加えないでください。

低い油分のしぼりかすのみが動物の飼料として好適です。

・しぼりかすは直ぐにビニール袋か密閉容器にためて、湿気を避けてください。

##### 6. ご使用後

・火を消します。

・**ご使用後はすぐに圧搾部の端の口金を取り除き、きれいにしてください。**

・キャップの仕様が新しくなり、そうじが簡単になりました。小さな棒やハンマーを使って搾りかすをキャップから押し出します。

・キャップの中の溝に残ったものも綺麗にします。

・圧搾部と圧搾スクリューを少し油をつけた布で拭きます。

・その日に抽出した油を密閉容器に注いで、その容器を、沈殿物が落ち着くために1～2日の間、温かい場所に置きます。ヤシやパバス、コブラのように融点が高い油には関してはかなり温かい場所に置きます。その後、保管のために、油をきれいな容器に移し替えます。

#### 7. 質問と答え

・圧搾スクリューが擦ったような音がして、回しにくい。圧搾部の近くのシャフトに鉄のくずがついているのが見える。

解決策：  
すぐにハンドルを回すのをやめてください。圧搾機シャフトの端のワッシャーに油が差されていないか、ワッシャーが付いていません。圧搾機は過度の磨耗に繋がるため、ワッシャーへの注油なしでは使用できません。口金蓋を取り除いて、圧搾部から圧搾スクリューを取り外しゴミを取り除き、ワッシャーに注油してください。

・しぼりかすが油切り口に詰まった。

解決策：  
口金の2つのしぼりかすの出口が狭いために、後ろから流れでるのかもしれませんが。調整ボルトを弛めて出口を大きく開けます。

種が湿りすぎていて、しぼりかすが後ろからでるのかもしれませんが。種をよく乾かしてください。

・油としぼりかすが一緒に出てきてしまう。

解決策：  
しぼりかす出口の開き具合減らす。

圧搾機が熱を持ちすぎているのかもしれない。芯ホルダーの上部を突き出ている芯を減らし、バーナーの炎を弱めてください。

一度、圧搾部の内部が予熱状態で圧搾を始めた場合は周囲の温度が高温になっているため、炎を完全に消すことが必要な場合もあります。

・圧搾部がオイルであふれる。

解決策：  
オイル出し口が詰まっています。ナイフできれいにしてください。種は油分含量率が高い、もしくはとても小さい。オイルはオイル出し口に流れ出

すのに時間がかかります。手回しハンドルを約45回転かそれ以下のゆっくりの速さで回す。

・ハンドルを回していると突然軽くなる。

解決策：  
漏斗の中が詰まっている。これは漏斗のなかを細い棒で押すことによって防ぐことができます。決して指や鉄の棒では押さない。

・調整ボルトがふたに合わない。

解決策：  
おそらく口金の内部の溝が汚れているため。温かいお湯できれいにします。

・圧搾機が熱すぎる。

解決策：  
熱機器が圧搾後も消されておらず、圧搾機がオーバーヒートしている。炎から外してふたをきれいにし、少しの間圧搾機を冷ましてから圧搾を続けてください。

・圧搾機が冷たすぎる。

解決策：  
芯が短すぎる。熱機器を消して、芯を少し引っ張って、もう一度炎をつける。

炎が自発的に消えてしまっています。もう一度ランプオイルを補充してください。

・圧搾部のススけた状態。

解決策：  
芯が長すぎます。火をけてその容器から芯のホルダーをはずして、芯を下向きにわずかに引っ張ります。火は小さくなり、煤けた状態ではなくなるでしょう。

何かご質問がございましたら、以下のアドレスまでお問合せ下さい。

↓↓↓  
[info@mt-sumi.com](mailto:info@mt-sumi.com)

※種を投入するカップ・ランプオイルは付属しておりません。カップはペットボトルを切ったもの、オイルは別途ご用意ください。

※ランプオイルにはパラフィンオイルをお使いください。灯油やアルコールランプ用のオイルも使用できますが、ススがつきやすいです。

Copyright©Mt.SUMI

All Rights Reserved.

※この取扱説明書は当社Mt.SUMIが翻訳しました。複製・転載はご控えください。

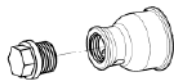


## 圧搾調整（調整ボルトの使用）

### 調整ボルト不要：



- ・ひまわりの種（ブラックシード）
- ・パパス種子・ベニバナの種
- ・かぼちゃの種・ニガー種子
- ・コブラ（ココヤシ）（0.5 cm 3 以内/乾燥）
- ・ジャトロファ（ナンヨウアブラギリ）
- ・麻の種

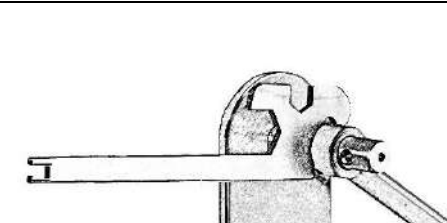
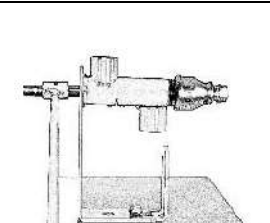
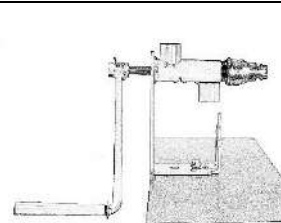


### 調整ボルト必要：

- くるみ・ごま・落花生（殻をむいて、炒っていないもの）・ヤシ・亜麻仁・ヘーゼルナッツ・菜種・ブナの木の実

使い方：調節ボルトを挿入して、オイルが最適に抽出されるまで締め付ける。  
別売 D2 ボルト使用：オリーブ  
D3 ボルト使用：ヤシ

## 種が乾燥し過ぎている：計量と保湿



1. ハンドル：普通の位置

2. ハンドル：計量の位置  
ハンドルをテーブルの上に置く（車軸はボルトなし）

3. 回しハンドルにピタバ・ツールをはめる。

## 圧搾がうまくいかない場合：

### 問題：

手回しハンドルを回すのが回りづらいもしくは回らない。  
しぼりかすがふたに残らない。  
オイルが抽出されない。  
スクリーの手前のワッシャーの磨耗。

### 原因：

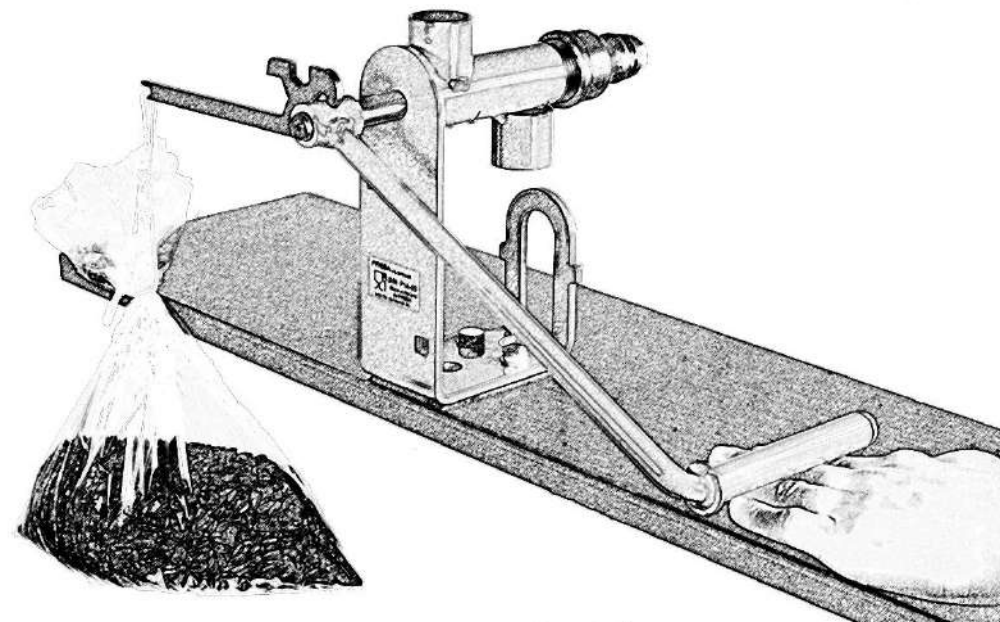
種の乾燥しすぎ

### 対処法：

水を加える：「計量と保湿」をご覧ください。



（最適な水分量：10%）

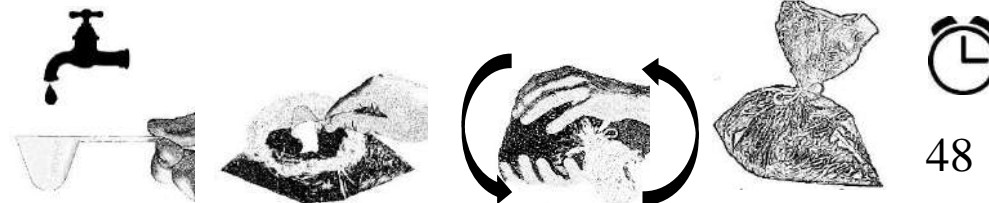


## Piteba-tool:



www.piteba.com

4. ビニール袋に満タンに入れて、ツールにぶら下げる：正確な計量の時、ハンドルがテーブルから持ち上がります。（指をハンドルの下に当てておく）車軸のスクリーは回転の地点です。



5. ビニール袋に水を1カップ加えて、水と種を混ぜて、48時間置く。